

書名 項目	<h1>新しい国語</h1>	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年とも単元及び学習の流れが示されていて、かつ、図やイラストを用いて学習のポイントを明示している。 ○文法の学習では、誤りやすい使い方や既習事項を確認しながら学習できるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報活用能力を高める上で、「情報のとびら」が効果的に使われている。 ○「取り組む」の中の例示が豊富で、児童の考えを深める効果が期待できる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○作者・筆者についての記述があり、様々な人生観に触れることができる。 ○言葉遊びなど、楽しみながら学習できる教材がある。 ○「伝えたい言の葉」や「季節の足音」で、美しい日本語について触れられるようになっている。 <p><読書に親しむ態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元末や教材末で、関連する本を多く紹介している。 ○「本は友達 ○年生の本だな」では、全学年のレイアウトが統一されていてみやすい。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○3年下に、手話・点字がある。 ○説明文では、写真が多く、理解の支援となる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の初めのページのイラストや写真が目を引き、児童の興味・関心を持たせるのに効果的である。 ○イラスト内の文字が小さくなっていることが見受けられる。 ○イラスト等、色遣いが適度で華美でない。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「見通す」→「取り組む」→「ふり返る」という流れがすべての教材で統一されていて、学びやすい構成となっている。 ○写真やイラストが効果的に使われていて、学習に役立てることができる。 	

書名 項目	<h1>ひろがる言葉</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 出</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」の教材では、全学年において「見通しをもとう」から「ふりかえろう」の学習の流れが統一して明示され、技能を習得する上での工夫がなされている。 ○学習を進める中で、「ここが大事」「言葉」等に記載されている事項の掲載ページが示され、活用しやすくなっている。 ○季節を表すことが様々な場面で示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明文の単元で、最初に短い作品を読んで読み方を知り、次に思考力を広げる作品を載せていることがある。 ○付録に「ここが大事」のまとめがあり、学びを振り返ることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○関東の「○学年で学ぶこと」では、学習項目ごとに色分けされているとともに、チェック欄やページ数があり、予習・復習に役立てることができる。 ○単元の扉絵が想像力や興味・関心を高めるような構成になっている。 ○年度当初の教材が、国語の楽しさを感じさせるようなものとなっている。 ○感じの広場での問題数が豊富である。 <p><読書に親しむ態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元末や付録に多くの本を紹介している。 ○全学年とも、上巻に図書館利用について、下巻に本の紹介等の読書を通して活動する教材がある。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○付録が豊富で、学習に役立てたり、参考にしたりする資料が豊富である。 ○付録における「新しく学んだ漢字」が手書きの書体である。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○目次が見開きになっていて、1年間の学習内容がわかりやすく記述されているが、やや字が小さい。 ○色遣い・イラスト・写真が効果的である。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「見通しをもとう」から「ふりかえろう」までの学習の流れがしっかりとしている。 ○全体的にやや難易度の高い教材が見受けられる。 ○文字の大きさや配置でやや読みにくさを感じる。 	

書名 項目	<h1 style="font-size: 2em;">国 語</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光 村</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れが統一されていて、見通しをもって学習できる構成となっている。 ○単元の扉の「これまでの学習」で前学年までの既習内容が示され、系統的な指導ができる。 ○単元の「たいせつ」で学習内容をわかりやすくまとめている。 ○多くの教材で言葉に着目して学習に取り組む内容が示され、言葉を大切にしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年の初めに、「話す・聞く」「書く」「読む」学習のウォーミングアップ的な内容があり、国語の楽しさを感じられるような構成になっている。 ○「話す・聞く」「書く」ことの教材では、各ページが2段構成となっていて、上段に活動内容、下段に学習のポイントが示されていて、取り組みやすいと思われる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「問いを持とう」で問いから始まり、目標につながるようになっていて、主体的な学習を大切にしている。 ○「ふりかえろう」の観点が疑問文で示され、評価しやすい。 ○生き方や日常生活について考えようとする教材が多くある。 <p><読書に親しむ態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間2回ずつ「本は友達」のコーナーがあり、図書館利用に関する内容と、本の紹介や「読んでみよう」の内容に分かれている。 ○単元末や付録に多くの本を紹介している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○付録全体がすっきりとまとまっていて使いやすさを感じる。 ○付録に1年間に学ぶ「たいせつ」が項目ごとにまとまっていてわかりやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストや図、表、漫画が効果的で、文章の理解を助けてくれる。分量も適量である。 ○挿絵や写真が発達段階や障害、人権などを配慮したものとなっている。 ○短歌や俳句では、作品と解説が色分けされていて、とても見やすい。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れが統一されていて、学びやすい構成となっている。特に、見通しをもつ場面や振り返りの場面で疑問文を多用しているところが、より主体的な学びにつながっていると思われる。 	